



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月5日
東

上場会社名 オルガノ株式会社 上場取引所
コード番号 6368 URL <https://www.organo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正幸
問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 園部 茂 (TEL) 03-5635-5111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	115,698	8.9	19,746	39.1	19,939	33.7	13,965	36.2
2024年3月期第3四半期	106,236	11.7	14,194	42.8	14,910	35.7	10,250	35.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 13,813百万円(20.5%) 2024年3月期第3四半期 11,463百万円(29.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	303.81	—
2024年3月期第3四半期	223.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	185,242	109,658	59.1
2024年3月期	182,703	102,147	55.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 109,415百万円 2024年3月期 101,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	41.00	—	61.00	102.00
2025年3月期	—	71.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	71.00	142.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,500	11.4	31,000	37.5	31,000	32.3	23,000	32.9	500.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 -社 (社名) 、除外 1社 (社名) オルガノエコテクノ株式会社
詳細は、添付資料 8 ページ「当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料 8 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	46,359,700株	2024年3月期	46,359,700株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	393,470株	2024年3月期	415,524株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	45,968,768株	2024年3月期3Q	45,919,310株

(注) 当社は、役員向け株式交付信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数 (四半期累計) の算定上控除する自己株式に含めております。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度の第3四半期(2024年4月1日～12月31日)における世界経済は、中国経済の減速や中東情勢などの地政学的リスクの影響がある中、米国を中心に底堅い動きが継続し、国内経済も緩やかな回復傾向がみられました。一方で、先行きについては第二次トランプ政権の保護主義的な政策による世界経済への影響などに注意が必要な状況であります。

当社の主力市場である電子産業分野においては、生成AI(人工知能)関連の半導体需要増加を受け、最先端半導体の設備投資が拡大するなど全体として好調な状況が継続いたしました。一方で、電気自動車(EV)やスマートフォン向けなどAI関連以外の半導体需要は停滞するなど、今後の市況には不透明感も見られます。医薬や食品、電子周辺分野などの一般産業分野、電力・上下水など社会インフラ分野においても設備投資やメンテナンスなど堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは国内外で大型プロジェクトの受注・納入活動を進めるとともに、プラントエンジニアリングプロセスの効率化を目指したDX関連の投資や、グローバルでの人材育成・活用施策の推進など生産・納入キャパシティの増強に取り組むとともに、次世代の技術や新たな事業の創出を目指した研究開発活動の拡充、サステナビリティやガバナンスの高度化などに向けた各種施策を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、受注高117,957百万円(前年同期比8.3%増)、売上高115,698百万円(同8.9%増)、営業利益19,746百万円(同39.1%増)、経常利益19,939百万円(同33.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益13,965百万円(同36.2%増)となり、繰越受注残高は116,472百万円(同7.0%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しているため、前第3四半期連結累計期間との比較・分析は変更後の区分に基づいております。

[水処理エンジニアリング事業]

■受注高

受注高は前年同期比9.1%増となる98,978百万円となりました。電子産業分野では、台湾や中国において半導体向けの大型プロジェクトを受注したことに加え、設備保有型サービスなどソリューション案件も好調に推移するなど、受注高が増加いたしました。また、一般産業分野においてはハイパーカミオカンデ向けの超純水設備や電子周辺分野の大型案件の受注などによって、社会・インフラ分野は国内の発電所の更新工事の受注などによって、それぞれ増加いたしました。

■売上高

売上高は前年同期比9.4%増となる96,915百万円となりました。電子産業分野では、台湾・中国・東南アジアにおいて前年度以前に受注した大型案件を中心に工事が順調に進捗したことに加えて、設備保有型サービスや各種メンテナンスなどソリューション案件が好調に推移したことから売上が増加いたしました。また、一般産業分野においても前年度以前に受注した大型案件が順調に進捗したことや、ソリューション案件が好調に推移したことで売上高が増加いたしました。社会・インフラ分野は国内を中心に堅調に推移しており、前年同期並みの売上高を確保しております。

■営業利益

営業利益は前年同期比41.8%増となる16,967百万円となりました。電子産業分野や一般産業分野の大型プラント案件の売上増加に加え、比較的収益性が高いソリューション事業の売上が拡大いたしました。また、好調な設備投資を背景に受注環境が良好に推移した影響や、原価低減・収益改善に向けた各種取組みによる効果に加えて、一部の好採算のプラント案件の売上が計上されたことによって利益率が改善したことなどから営業利益が増加いたしました。

[機能商品事業]

■受注高・売上高

受注高は前年同期比4.5%増となる18,978百万円、売上高は同6.2%増となる18,782百万円となりました。好調な半導体需要を背景に、電子産業向けのR0膜処理剤や排水処理剤などの水処理薬品が好調に推移したことに加え、電子材料の分離・精製に用いられるイオン交換樹脂などの機能材の販売が伸長し、売上高が増加いたしました。一方で、加工食品等に向けた食品添加剤は、不採算取引の整理を進めたことなどから減収となりました。

■営業利益

営業利益は前年同期比24.7%増となる2,778百万円となりました。全般的な売上高の増加に加えて、比較的利益率の高い電子産業向けの水処理薬品や機能材などの売上が拡大したことや、原材料価格の上昇に伴う価格改定などの利益改善策を進めたことなどから営業利益が増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,538百万円増加し、185,242百万円となりました。これは主に、棚卸資産が2,797百万円減少したものの、リース投資資産が6,261百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4,972百万円減少し、75,583百万円となりました。これは主に、短期借入金金が2,125百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7,511百万円増加し、109,658百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金7,890百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年11月1日に公表した業績予想を修正いたしました。

受注高につきましては、主に電子産業分野の大型案件の受注見込時期が後ろ倒しとなった影響により、前回発表予想を下回る155,000百万円（前回発表予想比8.8%減）となる見込みです。売上高につきましては、電子産業分野や一般産業分野のソリューション事業の売上が想定よりも増加したことで前回発表予想を上回る見込みです。利益面につきましては、比較的収益性が高いソリューション事業の売上拡大やプラント事業の利益率改善によって前回発表予想を上回る見込みです。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	165,000	28,000	28,500	21,500	467.75
今回修正予想 (B)	167,500	31,000	31,000	23,000	500.34
増減額 (B-A)	2,500	3,000	2,500	1,500	
増減率 (%)	1.5	10.7	8.8	7.0	
(ご参考)前期連結実績 (2024年3月期)	150,356	22,544	23,425	17,310	376.92

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,642	14,835
受取手形、売掛金及び契約資産	77,773	75,458
電子記録債権	4,452	6,714
リース投資資産	27,814	34,076
商品及び製品	7,707	8,320
仕掛品	9,221	6,958
原材料及び貯蔵品	4,902	3,754
その他	3,978	5,409
貸倒引当金	△23	△24
流動資産合計	153,469	155,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,526	19,828
減価償却累計額	△13,550	△13,852
建物及び構築物（純額）	5,976	5,975
機械装置及び運搬具	6,706	7,077
減価償却累計額	△5,828	△5,992
機械装置及び運搬具（純額）	877	1,085
土地	12,304	12,434
建設仮勘定	148	487
その他	6,557	6,978
減価償却累計額	△5,229	△5,619
その他（純額）	1,327	1,359
有形固定資産合計	20,634	21,342
無形固定資産	986	1,029
投資その他の資産		
投資有価証券	2,835	2,302
退職給付に係る資産	1,955	2,088
繰延税金資産	2,404	2,615
その他	600	530
貸倒引当金	△183	△171
投資その他の資産合計	7,613	7,366
固定資産合計	29,233	29,738
資産合計	182,703	185,242

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,842	18,694
電子記録債務	2,839	3,729
短期借入金	34,065	31,940
未払法人税等	3,605	3,662
契約負債	3,920	2,205
賞与引当金	1,890	1,147
製品保証引当金	1,686	1,406
工事損失引当金	83	66
役員株式給付引当金	107	77
その他	4,561	5,939
流動負債合計	72,602	68,869
固定負債		
長期借入金	2,400	1,200
繰延税金負債	59	21
退職給付に係る負債	5,344	5,372
その他	149	120
固定負債合計	7,953	6,713
負債合計	80,555	75,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	82,907	90,797
自己株式	△518	△745
株主資本合計	98,122	105,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	774	243
為替換算調整勘定	1,923	2,350
退職給付に係る調整累計額	1,108	1,035
その他の包括利益累計額合計	3,805	3,629
非支配株主持分	219	243
純資産合計	102,147	109,658
負債純資産合計	182,703	185,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	106,236	115,698
売上原価	76,446	78,438
売上総利益	29,790	37,259
販売費及び一般管理費	15,596	17,513
営業利益	14,194	19,746
営業外収益		
受取利息	97	97
受取配当金	44	29
為替差益	480	80
持分法による投資利益	131	76
その他	147	105
営業外収益合計	901	389
営業外費用		
支払利息	172	185
その他	12	11
営業外費用合計	184	196
経常利益	14,910	19,939
特別利益		
固定資産売却益	13	4
投資有価証券売却益	31	724
子会社清算益	57	—
特別利益合計	102	728
特別損失		
固定資産廃棄損	25	9
特別損失合計	25	9
税金等調整前四半期純利益	14,987	20,659
法人税等	4,722	6,674
四半期純利益	10,265	13,985
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,250	13,965

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	10,265	13,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173	△530
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	1,044	432
退職給付に係る調整額	△22	△72
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	1,198	△171
四半期包括利益	11,463	13,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,422	13,789
非支配株主に係る四半期包括利益	40	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当社は、2024年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社であったオルガノエコテクノ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,468百万円	1,342百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	88,557	17,678	106,236	—	106,236
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	295	296	△296	—
計	88,558	17,974	106,533	△296	106,236
セグメント利益	11,966	2,228	14,194	—	14,194

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,915	18,782	115,698	—	115,698
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	270	271	△271	—
計	96,916	19,053	115,969	△271	115,698
セグメント利益	16,967	2,778	19,746	—	19,746

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、重点事業である機能材料事業を機能商品本部におけるデジタルマーケティング戦略等により拡大するため、プラント本部エレクトロニクス事業部傘下の分離精製ビジネスユニットを機能商品本部機能商品事業部機能材料部傘下に移設しました。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「水処理エンジニアリング事業」に含まれていた、分離精製事業を「機能商品事業」に含める変更をしております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社株式の譲渡)

当社は、2024年11月29日開催の取締役会において、以下のとおり連結子会社であるPT Lautan Organo Water（以下「LOW」）の当社が保有する株式の一部を、合弁相手であるPT Lautan Luas Tbk（以下「LTL」の子会社であるPT Lautan Air Indonesia（以下「LAI」）に譲渡することについて決議し、2025年1月24日に株式譲渡契約を締結いたしました。

本株式譲渡に伴い、LOWは当社の連結子会社から持分法適用関連会社となる予定であります。なお、本件により、2025年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。

1. 株式譲渡の理由

当社は、2012年にLTLの子会社であったLOW（旧社名：PT Hydro Hitech Optima）の発行済株式の51%を取得し、LTLとの合弁により日系及び現地顧客をターゲットに水処理事業を営んでおりましたが、事業成長は当初期待したよりも緩やかなペースとなっております。

一方LTLは、グループ内に水処理薬品を中心に水処理事業を手掛けるLAIを有しており、事業拡大を進めています。LOWがインドネシア市場で水処理事業を拡大するには、LTLグループとのシナジーをより高めていくことが最適であると判断し、当社の保有する株式の一部をLAIに譲渡することを決定いたしました。

当社は、事業ポートフォリオの最適化を意識しつつ、引き続きLTLグループとの合弁事業を通じて、インドネシアでの水処理事業を進めてまいります。

2. 株式譲渡相手先（LAI）の概要

(1)	名称	PT Lautan Air Indonesia
(2)	事業内容	水処理事業
(3)	資本金	4,000百万インドネシアルピア（約38百万円）

※ 換算レート：1インドネシアルピア=0.0097円（2024年12月30日現在）

3. 株式譲渡日

2025年3月上旬（予定）

4. 合弁会社（LOW）の概要

(1)	名称	PT Lautan Organo Water
(2)	事業内容	水処理エンジニアリング
(3)	資本金	18,000百万インドネシアルピア（約174百万円）

5. 譲渡株式数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	9,180株（株式所有割合：51.0%）
(2)	譲渡株式数	3,780株
(3)	譲渡価額	当事者間の守秘義務により開示を控えさせていただきます。
(4)	譲渡損益	売却時点の当該子会社の純資産額が未確定なため、現在精査中であります。
(5)	異動後の所有株式数	5,400株（株式所有割合：30.0%）

3. 補足情報

2025年3月期 第3四半期連結決算概況

1) 事業セグメント別受注高・売上高・営業利益

(単位：百万円)

		2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
		3Q実績 2023. 4-12月	通期実績	3Q実績 2024. 4-12月	通期予想	3Q	通期
水 エ ン ジ	受注高	90,726	120,420	98,978	130,000	8,252	9,579
	売上高	88,557	126,393	96,915	142,500	8,357	16,106
	営業利益	11,966	19,111	16,967	27,300	5,001	8,188
	(%)	13.5%	15.1%	17.5%	19.2%	4.0pt	4.1pt
機 能 商 品	受注高	18,157	24,048	18,978	25,000	820	951
	売上高	17,678	23,962	18,782	25,000	1,104	1,037
	営業利益	2,228	3,433	2,778	3,700	550	266
	(%)	12.6%	14.3%	14.8%	14.8%	2.2pt	0.5pt
全 社	受注高	108,884	144,468	117,957	155,000	9,072	10,531
	売上高	106,236	150,356	115,698	167,500	9,461	17,143
	営業利益	14,194	22,544	19,746	31,000	5,552	8,455
	(%)	13.4%	15.0%	17.1%	18.5%	3.7pt	3.5pt

(注) 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しているため、2024年3月期の数値は変更後の区分に組み替えて表示しております。

2) 事業セグメント別・部門別売上高

(単位：百万円)

		2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
		3Q実績 2023. 4-12月	通期実績	3Q実績 2024. 4-12月	通期予想	3Q	通期
水エンジン事業		88,557	126,393	96,915	142,500	8,357	16,106
	プラント	48,159	68,749	49,304	72,500	1,145	3,751
	ソリューション	40,398	57,644	47,611	70,000	7,213	12,356
機能商品事業		17,678	23,962	18,782	25,000	1,104	1,037
	薬品	6,498	8,589	6,940	9,800	442	1,211
	機器・機能材	6,349	9,116	7,213	10,000	864	884
	食品	4,832	6,257	4,630	5,200	△202	△1,057
全社 売上高		106,236	150,356	115,698	167,500	9,461	17,143

(注) 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しているため、2024年3月期の数値は変更後の区分に組み替えて表示しております。

3) 地域別受注高・売上高

(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	3Q実績 2023. 4-12月	通期実績	3Q実績 2024. 4-12月	通期予想	3Q	通期
受注高	108,884	144,468	117,957	155,000	9,072	10,531
日本	82,833	109,955	72,767	93,000	△10,066	△16,955
台湾	11,850	15,589	32,222	45,000	20,371	29,411
中国	5,242	8,176	8,501	10,000	3,258	1,824
東南アジア・ 米国他	8,957	10,748	4,466	7,000	△4,490	△3,748
売上高	106,236	150,356	115,698	167,500	9,461	17,143
日本	68,849	96,544	70,801	104,500	1,952	7,955
台湾	13,295	18,555	19,868	30,000	6,573	11,444
中国	13,741	19,996	13,930	19,000	188	△996
東南アジア・ 米国他	10,350	15,260	11,097	14,000	747	△1,260

4) 水処理エンジニアリング事業 市場別受注高・売上高

(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	3Q実績 2023. 4-12月	通期実績	3Q実績 2024. 4-12月	通期予想	3Q	通期
受注高	90,726	120,420	98,978	130,000	8,252	9,579
電子産業	59,236	78,246	65,838	88,000	6,602	9,754
一般産業	23,145	30,986	24,095	31,000	950	14
電力・上下水	8,346	11,188	9,045	11,000	699	△188
売上高	88,557	126,393	96,915	142,500	8,357	16,106
電子産業	63,480	88,292	67,983	100,500	4,503	12,208
一般産業	19,071	27,469	22,618	30,500	3,547	3,031
電力・上下水	6,006	10,633	6,315	11,500	309	867

(注) 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しているため、2024年3月期の数値は変更後の区分に組み替えて表示しております。